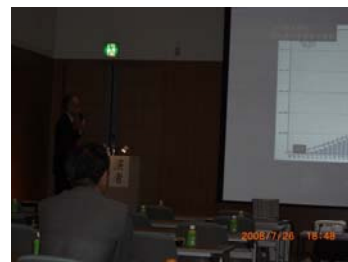
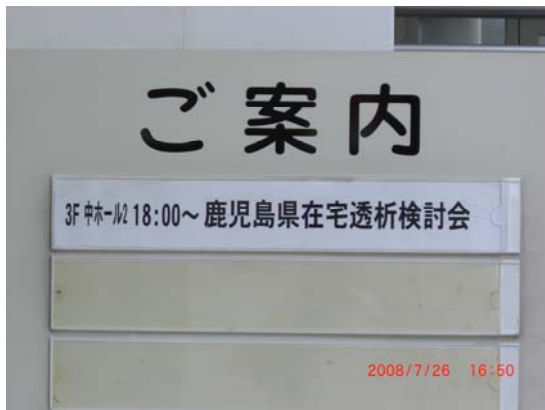


第9回鹿児島県在宅透析検討会 (7月26日)

平成20年7月26日(土)18時より、鹿児島県医師会館3F中ホールにおきまして、第9回鹿児島県在宅透析検討会が開催されました。この鹿児島県在宅透析検討会は、私どもの理事長である上山達典が会長を務めている勉強会です。残念ながら、鹿児島ではまだまだ在宅透析の認知度が低く、参加者も少ないのですが、一生懸命頑張っています。



一般演題は2題。鹿児島生協病院の杉原さんが『在宅でのCAPD管理についての援助』を、大隅鹿屋病院の金子さんが『腹膜透析がもたらした奇跡～認知症透析患者の2年間を振り返って～』を発表されました。



特別講演は、長崎市の宮崎内科医院院長の宮崎正信先生に

『腎不全の高齢化に対する腹膜透析の展開は可能か?』

という演題で講演していただきました。

宮崎内科医院のホームページは、<http://www.miyazaki-naika.or.jp/>です。

一度のぞいてみてください。